

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
アートセラピー II Art Therapy II		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	( )	アートセラピー I の履修者
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
アートセラピー I、音楽セラピー I				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
音楽セラピー II				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
(主) 立川聡子、栃木美保 (外部講師 大川公一)	授業中に指示し ます	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
アートセラピー I を基礎に、創造性をさらにブラッシュアップし、様々な素材に触れて表現力を深めることで幅広い人間性の向上を図る。				
授業の目標				
①テーマとなる様々な素材を理解し、それを活かすことのできるアイデアを生み出すことができるようにする。 ②空間・色彩・香り等枠にとらわれない方法で、造形表現を試みることができるようにする。 ③作品を通して、表現の喜び、創意工夫、鑑賞する楽しさを身につけメンタルヘルス、ストレスケアに役に立てるようにする。				
授業の方法				
講義、実習、テーマによる造形表現、作品鑑賞、作品展示などを取り入れ、素材の理解、造形表現を試みる。				
学習の成果 (学習成果)				
造形表現の体験を通して、表現の喜び、創意工夫、鑑賞する楽しみを身につける事ができる。 素材や表現方法の多様性をする事で、感性を高め精神的な豊かさを得、メンタルヘルス、ストレスケアに役立てることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・概要説明	(学外)	(大川)	
第2回目	藍染の歴史と地元藍染の歴史	(学外)	(大川)	
第3回目	藍染実習 ①	(学外)	(大川)	
第4回目	藍染実習 ②	(学外)	(大川)	
第5回目	藍染作品の完成と展示	(学外)	(大川)	
第6回目	コンピュータアート① パソコンを利用してデザインする アプリケーションの基本的な機能 (立川聡子)			

第7回目	コンピュータアート② パソコンを利用してデザインする デザインの創作	(立川聡子)
第8回目	コンピュータアート③ パソコンを利用してデザインする アート作品の制作	(立川聡子)
第9回目	コラージュ表現 ①	(栃木)
第10回目	コラージュ表現 ②	(栃木)
第11回目	コラージュ表現 ③	(栃木)
第12回目	季節のオーナメントを各自のアイデアをもとに制作 ①	(栃木)
第13回目	季節のオーナメントを各自のアイデアをもとに制作 ②	(栃木)
第14回目	季節のオーナメントを各自のアイデアをもとに制作 ③	(栃木)
第15回目	オーナメント仕上げ 展示方法 作品講評	(栃木)
事前・事後学習	取り組む前に、歴史と未来を創造し、ITや図書館を活用して、造形のアイデアをまとめておく。	

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	40%	課題の内容を考え、制作にまじめに取り組む。アイデアを形に表現する努力をする。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	60%	作品提出 独創性のある表現を試み、表現の意図を伝える努力をしている。
その他		

教科書と参考図書

資料配布
------

履修上の留意点・ルール

積極的に授業に取り込む。授業の進行、他者に迷惑になる行為は禁止。遅刻厳禁。授業中携帯電話使用禁止。材料費に5,000円程度必要（集金は授業の中で）
---